

## プレスリリースのご案内

報道関係者各位

2013年6月24日

**UNITCOM**

株式会社 ユニットコム

### **株式会社ユニットコム「夏場におけるパソコン故障に関する動向」 2012年調査データ**

全国で、パソコン工房・グッドウィル・ツートップ・フェイス・バイモアを展開する株式会社ユニットコム（代表取締役：高島 勇二、本社：大阪市浪速区）は、「夏場におけるパソコン故障に関する動向」をお知らせいたします。

#### 1 調査データに関して

（2012年1月～2012年12月における弊社実績データおよび気象庁ホームページにて掲載の統計データを利用して調査を行っております。）

- ・パソコン修理（サポート）関連受付件数より
- ・電源まわりのトラブルによる修理件数より
- ・データ復旧関連のサポート受付件数より
- ・パソコンクリーニングによる受付件数より
- ・対象店舗：日本全国の株式会社ユニットコムの直営103店舗
- ・気象庁ホームページ「日本の月平均気温偏差（℃）（2012年）」より抜粋
- ・気象庁ホームページ「台風の発生数（2012年）」より抜粋

#### 2. パソコン修理の季節変動に関して

パソコンの動作に悪影響を与えるものとして、振動（衝撃）や静電気もありますが、特に高温や高湿度によるものが多く見られます。6月～7月の外気上昇高湿度の梅雨時期から圧倒的にパソコンの修理受付件数が増加していきます。

まさに夏場は「パソコン災害」の多くなる季節となります。

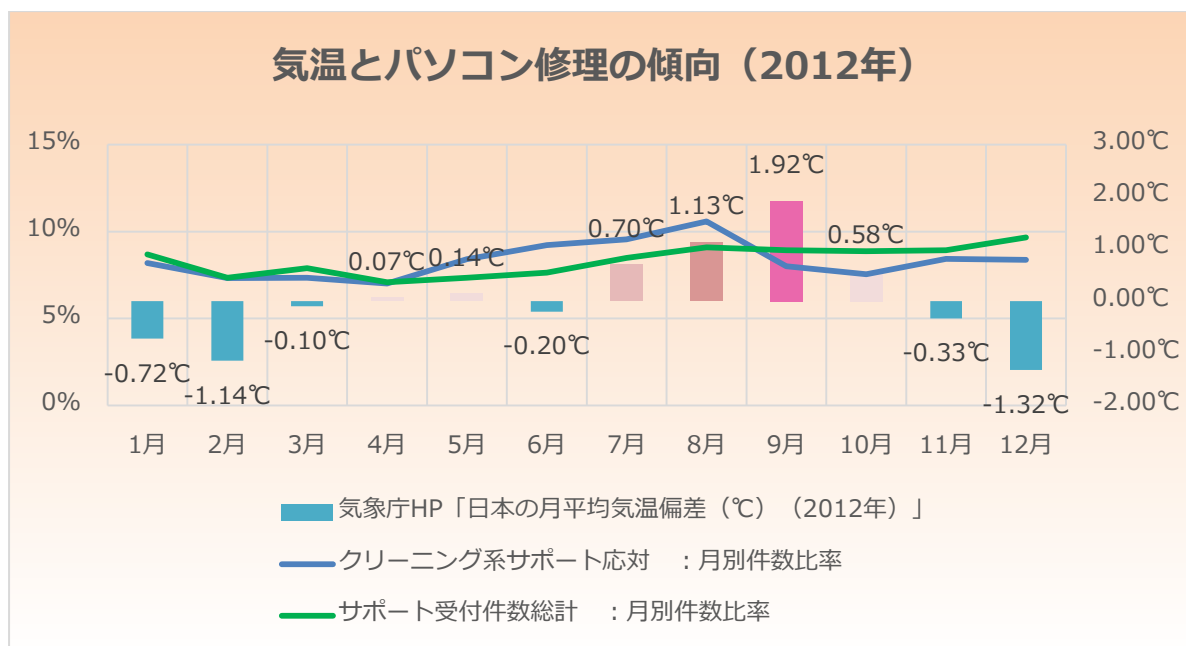
この季節は、パソコンの嫌がる高温や高湿度への対策を取る事が重要です。

万全の対策でパソコンを長持ちさせ、気持ちよく梅雨から夏場を乗り切りたいものです。

### 3. 外気が上昇する7月～10月にかけてパソコン動作が不安定に

平均気温の変化を見ると、7月から10月までは高温の時期が続きます。

これに伴い、パソコンの修理受付件数も上昇し、パソコン内部クリーニングのサポートも並行して増加していきます。



※気象庁ホームページ「日本の月平均気温偏差（°C）（2012年）」より抜粋

以上の結果より、パソコンの構造上、気温が高い時期にパソコンの故障が発生する確率は高いといえます。

夏場は、パソコン使用環境により、塵や埃による影響で排熱機能が失われ、故障に至るケースが多くなります。また、室内の湿度が高い場合、パソコン内部に蓄積された埃が水分を吸収し、吸気や排気の機能を損なう事も珍しくありません。

### 4. 夏場にトラブルが起こる環境

家庭内や社内におけるパソコンの使用環境は様々ですが、その環境に応じてパソコンのトラブルが発生する頻度は大きく変わります。

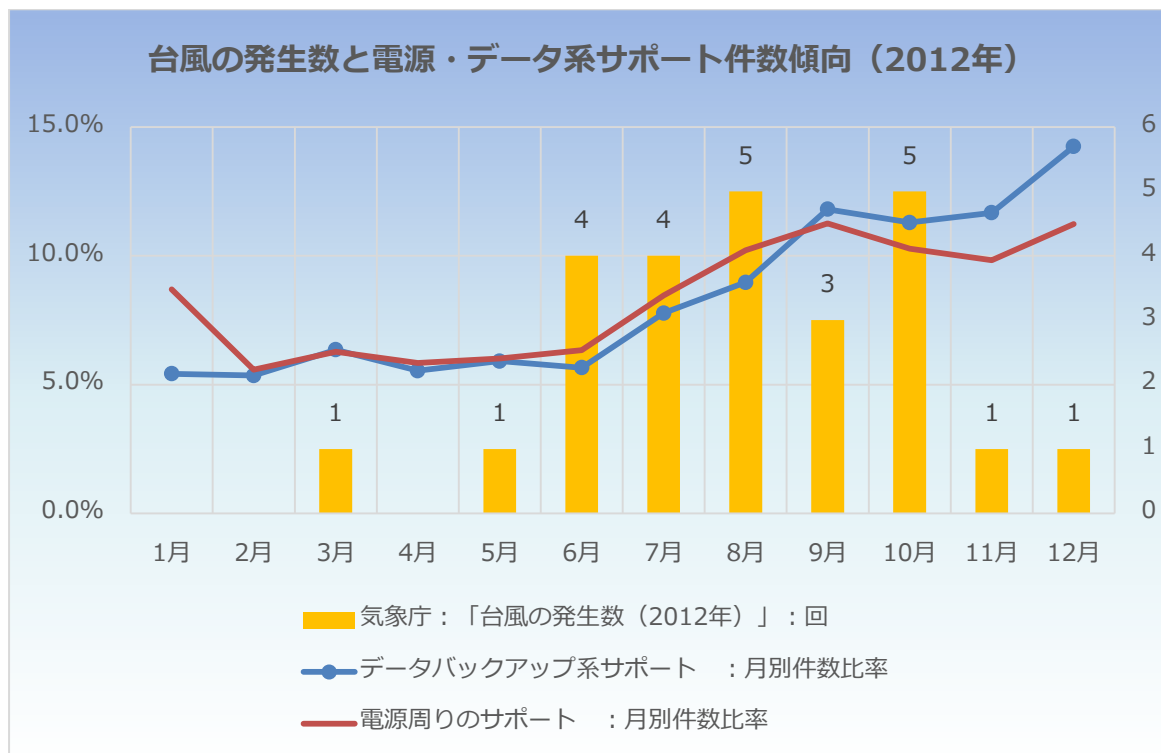
特に夏場は、高温や高湿度、落雷の影響を受けやすい季節ですので、パソコンの設置場所が以下のような環境に置かれている場合、注意が必要です。

- ・パソコンに直射日光が当たる窓際に置いている。
- ・パソコンに内蔵ドライブが密着した状態で多数入っている。
- ・パソコンを壁ぎわに置いており、壁とのすき間は10センチ以下である。
- ・パソコンのファンの音が急に大きくなったまま変わらない。
- ・夏場にブレーカーが落ちることがよくある。
- ・雷の多い地域に住んでいる。

## 5. 台風の発生回数と電源周り、データ損失系のトラブルが上昇

パソコンの通電部分に関する電源周りのトラブル件数を見ると、6月以降増加して行きます。また、データ保管場所であるハードディスクも高温の影響を受け易く、故障件数も同様に増加していきます。

下記の台風の発生件数とサポート件数の対比から見て取れる様に、台風発生件数の増加に伴いサポート件数も右肩で増加しており、相対関係は明らかです。



※気象庁ホームページ「台風の発生数（2012年）」より抜粋  
 パソコンの内部には、電源 やハードディスクを中心に、いくつもの「熱源」が存在します。

内蔵ハードディスクの動作が保証されているのは通常 50 度ぐらいまでで、エアコンを使用しなければ室温が 30 度を超える 夏場に、直射日光の当たる場所でパソコンを使用すれば、この動作保証温度を簡単に超えてしまいます。日本で人気のある省スペース・薄型パソコンは、内部の空間が狭く、熱がこもりやすい構造になっており、注意が必要です。

また、台風から発生する落雷により、電源が故障するケースも多くなります。落雷は、瞬間的に 3000V 以上の高電圧が流れることとなりますので、高電圧の影響を最初に受ける部品は電源です。

## **6. 適切な対応処置を**

### **①パソコン内部の温度を上げない**

内蔵タイプの DVD やハードディスクドライブを搭載している場合は、ドライブ本体やケーブルが内部の空気の流れをさまたげやすくなります。ケーブルはまとめてたばねるなどして、可能な限り空間を確保しましょう。また、ハードディスク増設の際は、密着させないようにして空間を確保します。

また、冷却ファンに埃が溜まると、吸気・排気ファンの回転数が落ちて冷却力が弱くなります。そうすると、パソコン内部の温度が上昇し、故障の原因となります。

最近では、水冷式の CPU クーラーが人気です。これは、通常使われることの多い空冷式の CPU クーラーより冷却効果が高くなっています。

### **②パソコン内の排気に注意することが重要**

ケース前面や側面に空いている隙間を塞ぐ事や、近くに物を積み上げて気流を妨げる事は、パソコン内の温度を上げることにつながります。

また、パソコンを壁側にピッタリと近づけてしまうと、せっかく排気した熱を吸い込んでしまい、冷却効率が下がります。パソコン背面には電源やネットワーク、マウスなどのケーブル差込口があり、ケーブルがからみ合い排気に悪影響を与え、埃がたまりやすくなります。電源ファンや排気ファンの音が気になったら、ファンがきちんと回転しているか、チェックしてみてください。

### ③数日間、パソコンを起動しないことはNG

数日間にわたってパソコンをまったく起動しないと、埃や湿気が蓄積する事になる為、故障の原因となります。特に夏場の閉め切った部屋に、数日間パソコンを放置するという事は避けましょう。

### ⑤雷サージガードタップ

パソコン関連機器へのダメージを防ぐには、雷サージガードタップが有効です。雷サージ防止機能のついた電源タップが販売されています。価格も 2,000 円前後と手頃ですので、雷の多い地域にお住まいの方は、ぜひ導入を検討してみてください。

### ⑥絶対にブレーカーを落とさない

パソコンの動作中にブレーカーが落ちると、保存していないデータが消失してしまう事はもちろん、パソコンの回路自身がダメージを受ける可能性があります。最悪の場合、ハードディスクがクラッシュして、全てのデータが失われてしまいます。

ブレーカーが落ちる事でパソコンが壊れる事防ぐには、電源が落ちても数分間はパソコンに電源を供給でき、その間にデータの保存やパソコンのシャットダウンができる無停電電源装置（UPS）を使うのがベストです。

### ※パソコンはやはり精密機械

最近のパソコンにおいては、内部のパーツも丈夫になってきていますが、精密機械であるという点については、変わりはありません。

この点を忘れず、メンテナンスを怠らなければ、パソコンは「長くつきあえる」ものです。完全に故障してしまう前に、大事に使う心がけを、忘れないようにしたいものです。

## 7. 会社でパソコンをお使いの方へ

企業のパソコン環境はオフィス内の空間（スペース）のゆとりが無く、特に排熱性が悪い状態にさらされがちです。特に Windows XP 時代（5. 6 年前）のパソコンはデスクトップタイプも多く、風通しが悪く、埃が溜まりやすい机の下（足元付近）に設置されているケースが多々あり、弊社内でのパソコン修理も Windows XP 時代のパソコンが多くございます。

Windows XP のサポートが 2014 年 4 月に終了する事でセキュリティーのリスクも高まる中、パソコン自体の入れ替を企業様からご相談頂く事も、ここ最近増えてきております。

---

リリース配信可能日： 2013 年 6 月 24 日 (月)

---

#### 【会社概要】

社名 株式会社ユニットコム

会社ホームページ URL : <http://unitcom.co.jp/>

運営ショップ名

パソコン工房 URL : <http://www.pc-koubou.jp>

グッドウィル URL : <http://www.goodwill.jp/>

ツートップ URL : <http://www.twotop.co.jp>

フェイス URL : <http://www.faith-go.co.jp>

バイモア URL : <http://www.unitcom.co.jp/buymore/>

セルモア URL : <http://http://www.sellmore.jp/>

パソコン修理総合サイトURL : <http://pc-support.unitcom.co.jp/>

代表者 代表取締役 高島 勇二

本社所在地 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4-16-1

事業内容 オリジナルパソコン、パソコンパーツ、ソフトウェア、パソコン周辺機器の販売  
パソコン修理・サポートサービス、メモリアーカイブサービス

---

本リリースに関するお問い合わせ先  
株式会社ユニットコム 販促企画部

Tel : 06-6647-6077 / Fax: 06-6647-6099

E-mail: [uni-kikaku@unitcom.co.jp](mailto:uni-kikaku@unitcom.co.jp)